

第1学年 生活科学学習指導案

指導者 桐田 照美

1 単元名 1年「ふゆと ともだち」(教育出版)

2 単元について

(1) 本単元は、学習指導要領の(5)「季節の変化と生活」(6)「自然や物を使った遊び」を受けて設定したものであり、1年間を通じた校区内の自然とかかわる活動の締めくくりとなる単元である。児童はこれまでの活動を通し、諸感覚を使ってかかわりながら季節を体感している。本単元では、自然観察や探検を通して体験したことから、「秋の虫は今ごろどうしているのだろう」「冬の木はどうなっているのかな」「冬の公園ではどんな遊びができるかな」といった、子どもらしい疑問や発想を生かしながら、活動を計画していくことができる。

また、お正月を迎える中で、伝承遊びやお正月遊びにも挑戦させ、技を高め合ったり、友達と競争し合ったりする楽しさを味わわせることもできる。そのような遊びとの出会いには、年長者を招いて教えてもらったり、昔の遊びの話を聞かせてもらったりしながら関心を高め、地域の人との交流を深めることもできる。このような活動を通して、子どもたちが季節の変化に気付き、自分たちの生活や遊びをより豊かにしようとする意欲をもたせることができる単元である。

(2) 本単元の系統は次のとおりである。

1年	1年	1年	1年	2年
はるとともだち	なつともだち	あきともだち	ふゆともだち	作ってためして

(3) 本単元にかかわる児童の実態は次のとおりである。(16名)

①冬になると、自然はどうなるでしょう。

霜柱ができる(9) 地面[山・植物・葉]が白くなる(7) 冬眠する生き物がいる(7)

雪が降る(3) 水が凍る(3)

霜がおりる、木の葉が落ちてなくなる、寒くなる、動物の毛がふさふさになる

②やったことのある遊びに○をつけましょう。

たこあげ(16) こま回し(13) けん玉(12) メンコ(10) お手玉(15)

紙ふうせん(16) 竹馬(13) カルタ(16) おはじき(15)

3 仮説にせまる授業での取組

(1) 問題設定の工夫(仮説1)

○冬の自然がどのように変わっているか予想を立てて、公園に冬探しにでかける。

○「発見した冬のものでクイズをつくり、給食時間の校内放送でクイズを出す」という目的意識をもたせ、活動への意欲を高める。

○ブラックボックスを使って、こま、お手玉、めんこ、けん玉、ビー玉、竹とんぼなど昔から伝わる遊び道具を提示し、昔の遊びに対する期待感をもたせる。

(2) 自分の考えをもち、表現できる手立ての工夫(仮説2)

○公園に出かけ、「冬探タイム」で見つけた冬をシートに記入し、全体で交流させる。

○校庭のあちこちに水を入れた容器を置き、「氷ができやすいのはどの場所か」予想を立て、そう思うわけを出し合う。

○発見した冬の自然について特徴を考えさせ、「冬のものクイズ」をつくらせる。

○祖父母や地域の年長者に昔遊びの方法を教えていただいたあと、初めて知ったことや感想を手紙に書いて渡す。

(3) 身近な生活や自然で理科を実感させる工夫(仮説3)

○天気と霜、霧、霜柱、つらら、氷などの関係について、日常生活の中で気付いたことを話題に取り上げていく。

4 単元の目標

- ① 冬の自然を生かした遊びや伝承遊びに関心を持ち、冬の寒さに負けずに元気に生活していこうとする。
- ② 年長者に教えてもらった遊びや自分たちで考えた遊びを、楽しく競い合ったり遊び方やルールを工夫したりしながら楽しむことができるようにする。
- ③ 冬の公園や野原の樹木や草花、虫などの様子から季節の移り変わりや、自分の生活の変化に気付くことができるようにする。

5 単元の評価規準

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や 自分についての気付き
<ul style="list-style-type: none"> ① 身近な自然や季節に目を向け、関心をもってかかわろうとしている。 ② 正月遊びや昔から伝わる遊びに関心をもって、楽しく遊ぼうとしている。 ③ 思いや願いをもって、遊びや遊びに使うものを作ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 諸感覚をつかって、冬の自然を観察している。 ② 正月遊びや昔から伝わる遊びのルールを考えて遊びを工夫している。 ③ 身近にあるものを利用して、遊びに使うものを自分なりに工夫して作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 冬の自然の様子や季節の変化に気付いている。 ② 友達や地域の人とかかわって遊ぶ楽しさ、それぞれの人のよさや自分との違いに気付いている。 ③ 遊びの楽しさや遊びを工夫したり作り出したりする面白さに気付いている。

6 指導と評価の計画 (11 時間取扱い)

次 時	主な学習活動 [◇教師の指導・留意点] <>…小単元名	評価規準及び評価方法	
第1次 1時間	<p><ふゆと ともだち></p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な地域の様子や生活の中で、季節の変化を感じることを発表する。 ○単元の流れを知り、活動のめあてをもつ。 ※冬を発見したら、随時掲示用紙に貼っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇単元の流れを確認し、活動の見通しをもたせる。 ◇できる範囲で、写真を撮っていく。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 関心・意欲・態度① 発表 </div>
第2次 4時間	<p><ふゆを かんじよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ①ふゆをさがそう ②とくちょうをかんがえて、「ふゆのものクイズ」をつくろう <ul style="list-style-type: none"> ○冬の公園に出かけ、秋の様子と比べながら自然を観察する。 ※寒い日に雪や氷・霜を使った遊びをしたり、氷を作ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇見つけた冬を発見シートに記入させる。 ◇天候が関係することなので、氷作りの準備をして、臨機応変に対応する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 思考・表現① 観察・シート </div>
⑤ 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○発見した冬の物で、クイズをつくる。 ○クイズ大会を開く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇冬の物の写真を見せ、特徴を考えてクイズをつくらせる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 気付き① クイズシート </div>

第3次 6時間	<むかしのあそびをしよう>			
	①むかしあそび大会をしよう ②おもちゃをつかってあそぼう			
	6	○正月にした遊びや昔から伝わる遊びを出し合う。 ○好きな遊びを体験する。	◇ブラックボックスを用意し、「昔からある遊び道具」を入れて提示する。	関心・意欲・態度② 発表・観察
	7	○祖父母や地域の年長者に昔の遊びを教えてもらい、「昔の遊び大会」を開いて一緒に遊ぶ。	◇事前にやってみたい遊びを調査し、来てくださる方に依頼しておく。	思考・表現② 観察・発表
	8		◇できるだけたくさんの遊びが体験できるように約束ごとを決めておく。	
	9	○楽しかったことや初めて知ったことを入れて、手紙を書く。	◇手紙を書くときに「昔の遊び大会」のことを思い出せるような写真を撮っておく。	気付き② 観察・手紙
10	○身近なものを使って、おもちゃを作って遊ぶ。	◇手作りおもちゃの本や教科書を参考に、つくりたいおもちゃを考えさせておく。	思考・表現③ 観察・発表	
11	○作ったおもちゃで遊び、さらに楽しくするためにおもちゃを改良する。	◇うまく揚がるこつ、回るこつなどについて気付いたことを出し合わせる。	関心・意欲・態度③ 気付き③ 観察・感想シート	

7 本時の学習（5/11時間）

(1) 目標

発見した冬の自然の特徴に気付き、冬の物クイズをつくることができる。【気付き】

(2) 仮説との関連

本時においては**仮説2**を中心として研究を進める。発見した冬のものの特徴をとらえ、それをクイズにして出題することは、冬のものについての自分の見方を表現することにつながる。また、互いの考えを共有する場にもなるととらえる。さらに、「稲田小学校のみんなに、冬のものクイズを出す」という目的意識をもたせ、活動への意欲を高める。

(3) 展開

過程	時間	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点・評価	備考
つかむ	2	1 めあてをつかみ、活動の流れを知る。 (めあて)とくちょうをかながえて、「ふゆのものクイズ」をつくろう		
	6	2 発見した冬の物を写真で振り返る。 ・霜柱だ。 ・氷ができていたな。	○公園や身の回りで発見した冬の物のクイズづくりについて、見通しをもたせる。 ①クイズづくり ②クイズ大会 ○写真を提示し、特徴を確認しながら黒板に貼る。	写真

もとめる	15	<ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱが凍っていた。 ・踏んだら音がシャリシャリした。 <p>3 クイズをつくる。</p> <p>(1) クイズの作り方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「秋の物クイズ」をつくったから今度もできそう。 ・触った(踏んだ)感じや見た感じを入れるといいんだ。 <p>(2) 選んだものについてクイズをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透明です。 ・堅くてとがっています。 ・冬になると、空から降ってきます。 ・地面を持ち上げます。 ・口から出てきます。 ・次は何について書こう。 	<p>○クイズのつくり方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) 冬の物を選ぶ。</p> <p>(2) 特徴を3つ考えて、ヒントを書く。</p> <p>(3) 答えを書く。</p> <p>(4) 読み直して先生に見せる。</p> </div> <p>○学級全体で、1つのものについてクイズをつくらせ、活動を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆気付き① (クイズシート) B基準冬の物の特徴を入れてクイズをつくらせている。</p> </div> <p>A基準冬の特徴をとらえたクイズをつくらせている。 (B基準に達していない児童への手立て)</p> <p>○色や触った感じなどについて質問をして、言葉を引き出す。 (B基準に達した児童に取り組ませる活動)</p>	クイズシート
	15	<p>4 クイズ大会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷たいものはいろいろあるな。 ・「空から降ってくる」でわかった。 	<p>○「めあて」について、ふり返らせる。</p> <p>○冬のものの特徴には、どんなことが多いのか確認する。</p>	
ふりかえる	5	<p>5 本時の活動を振り返り、冬の特徴をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の特徴を入れてつくることができた。 ・特徴を考えるのが難しいものと簡単なものがあった。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(まとめ) 冬は、冷たいものや白っぽいものが多い。 寒くて、水が凍ったり、雪が降ったり、霜が降りたりする。 生き物は、じっとしていることが多い。</p> </div>	
まとめる	2	<p>6 校内放送でクイズを出すときのポイントについて考える。</p>	<p>○校内放送でクイズを出すことについて確認する。</p>	

○「徹底指導」と「能動型学習」

本時においては、冬探しで発見したものを写真で振り返り、その特徴をとらえてクイズをつくらせることで、能動的な学習につなげたい。そのために、クイズづくりのポイントを確認し、みんなで1問作ってみること(徹底指導)で、個人がスムーズに活動を進めることができるようにする。このクイズづくりを通して、身近な自然を再発見させたい。

○ 本時で身に付けさせたい科学的な言葉

氷、雪、霜、霜柱、つらら、光、冷たい、寒い、風、冬眠、つぼみ